

26. 鷲山寺



- ・長國山鷲山寺は、法華宗（本門流）の大本山の一つである。
- ・鷲山寺の古記録『青表紙』によると日蓮聖人は文永元年（1264）鷲巢の大檀那、小早川内記と師檀の盟約を結び、後の中老僧日弁大正師によって建治3年（1277）に創立されたと伝えられている。
- ・鷲山寺は関東法華の棟梁と言われ、慶安2年（1649）江戸幕府三代将軍徳川家光より朱印状を交付され、十万石大名の待遇を受けた。正徳3年（1713）当山第27世日誠上人が

正親町（おおぎまち）三条大納言公統卿の猶子（ゆうし）となり菊御紋緋紋白の袈裟を下賜された。慶応4年（1868）には有栖川宮家の祈願所となった。

- ・七堂伽藍備えていた鷲山寺は四度の火災に遭い諸堂を焼失したが、日蓮聖人の御尊像は建立以来の姿で「鷲巢のお祖師様」と呼ばれ今も篤い信仰を集めている。

